

1 国語に関する調査

【特長】

- ・「情報の扱い方に関する事項」において、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことがよくできている。
- ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができている。

【課題】

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題が見られる。文章を構成する修飾語や接続語などの役割を的確に捉えながら読みを深める活動を充実させていきたい。
- ・「読むこと」において、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題が見られる。日頃の伝え合う活動の中で、叙述に基づいて簡潔に書き表す活動を多く取り入れていきたい。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・「数と計算」における数量関係を、□を用いた式に表すことがよくできている。授業の際、なぜそのような式や考え方になるのか、話し合う活動を取り入れている成果だと考えられる。
- ・「データの活用」における円グラフの特徴を理解し、必要な情報を読み取ることがよくできている。授業の際、自分自身で問題解決までに必要な情報をしっかりとおさえる活動を充実させたためだと思われる。

【課題】

- ・「変化と関係」における道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られる。問題場面を正しく捉え、日常の具体的な場面に対応させながら考える力をつけていきたい。
- ・「数と計算」における除数が少数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係についての理解に課題が見られる。問題を解く際に、数直線を用いて考える力をつけていきたい。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 学校へ行くのが楽しい、友達関係に満足していると思っている児童の割合が高い。学習に限らず、様々な学校行事等で充実した活動が出来ているのではないかと考える。
- わからないことがあったときに、すぐに PC、タブレット等の ICT 機器を活用できると回答した児童の割合が高い。今後は、自分の考えをわかりやすく伝えたり、友達と共有したりする場面においても進んで活用できるようにしていきたい。

【課題】

- 1 日当たりのテレビゲームをする時間や SNS や動画視聴等の時間が 2 時間以上の児童が多い。それらの使い方については、家庭にも呼び掛けていきたい。
- 地域や社会をよくするために、何かをしてみたいと回答した児童の割合が低い。公民館や地域の方たち主催の行事が盛んに行われているので、子どもたちが興味を持って参加できるよう声掛けをしていきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 40 分授業実施により増えた時間数を活用し、基礎・基本の習熟を図る。主に算数の考え方や計算のスキルアップを目指し、計画的に教材の準備をしたり、児童の目標別に少人数で学習を進めたりしていく。
- 話し合いや伝え合いの学習に、ICT 機器を活用する場面を増やしていく。また、ICT 機器の具体的な操作方法に関する職員研修も併せて充実を図っていく。
- 児童を指導・支援する際には常に複数で対応することを心掛け、必要に応じて迅速に支援チームを立ち上げる等、児童一人ひとりを丁寧に見守っていく。
- どんなことがあっても、いじめはいけないことだという認識のもと、お互いの違いを認め合えるクラス環境を構築していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- テレビゲームや SNS、動画視聴等スマートフォンやタブレットの使用について、時間や制限、課金等に関する家庭内でのルールをお子様と話し合っ決めて、ルールを守った生活ができるよう、お声掛けをお願いいたします。
- 学校から出される宿題も含め、家庭学習の充実が図れるよう、お子様への声掛けや支援をお願いいたします。
- 地域社会の一員として地域の行事等に無理のない範囲で参加し、人の役に立つ経験や人と意見交換する経験をしてほしいと思います。